

第5回 小牧市まちづくり推進計画審議会 議事録

日 時	令和5年10月10日(火) 18時00分～19時30分	
場 所	小牧市役所本庁舎6階 601会議室	
出席者	<p><b>【委員】</b>(名簿順)</p> <p>浦田 真由 名古屋大学大学院情報学研究科准教授          大塚 俊幸 中部大学人文学部教授          柴田 謙治 金城学院大学人間科学部教授          清水 真 中部大学経営情報学部教授          倉知 日出美 小牧市女性の会 副会長          近藤 鎮彦 小牧市区長会 連合会長          鈴木 義久 小牧商工会議所 副会頭          関 哲雄 (特非)こまき市民活動ネットワーク 事務局長          舟橋 拓馬 (一社)小牧青年会議所 副理事長兼室長          山本 華代 小牧市小中学校PTA連絡協議会理事北里中学校PTA家庭教育委員          吉田 友仁 (社福)小牧市社会福祉協議会 会長          伊藤 咲哉 一般公募者          岩野 さゆり 一般公募者          日榮 順子 一般公募者          舟橋 精一 一般公募者          晦日 優菜 一般公募者          吉田 富美子 一般公募者</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>笹原 浩史 市長公室長          駒瀬 勝利 市長公室次長          舟橋 知生 総務部次長          三品 克二 地域活性化営業部次長          小川 正夫 市民生活部次長          落合 健一 健康生きがい支え合い推進部次長          小川 真治 福祉部次長          伊藤 加代子 こども未来部次長          竹内 隆正 建設部次長          堀場 武 都市政策部次長          笹尾 拓也 上下水道部次長          竹田 孝一 市民病院事務局次長          林 浩之 会計管理者          小口 高広 副消防長          丹羽 正幸 消防署長          矢本 博士 教育委員会事務局次長          舟橋 朋昭 市長公室 秘書政策課 課長          梅村 昌行 市長公室 秘書政策課 市政戦略係長</p>	
欠席者	<p>長岩 嘉文 日本福祉大学中央福祉専門学校校長          長江 美津子 名古屋経済大学人間生活科学部特任教授</p>	

	發知 和夫 連合愛知尾張中地域協議会 代表
傍聴者	11名
配布資料	資料1 小牧市まちづくり推進計画 第2次基本計画 自治体経営編 (案) 資料2 小牧市まちづくり推進計画 第2次基本計画 分野別計画編 (案) 参考資料1 施策の体系 (案) 参考資料2 指標の実績値の推移

## 内容

<p>1. 開会</p> <p>2. 市民憲章唱和</p> <p>3. 会長挨拶</p> <p><b>【柴田会長】</b> 皆さんこんばんは。 本日もご多忙の中ご出席くださり、ありがとうございます。本日は自治体経営編案の審議を行います。 この自治体経営編の審議で、まちづくり推進計画第2次基本計画案のすべてについて一通りの審議を終えることとなります。 あとは11月にあり、それから12月にパブリックコメントの期間があつて、そして1月に案ができて上がるというふうに伺っています。よろしくお祈りします。 また本日は、自治体経営編の審議の状況にもよりますが、時間が許すようであれば、これまでに審議した分野別計画編の中で、何か言いそびれた点など、ご意見をいただく時間を設けたいと思いますので、よろしくお祈りいたします。</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 自治体経営編 (案)</p> <p><b>【柴田会長】</b> それではここからは、私が進行させていただきます。 自治体経営編の審議の進め方については、これまでの分野別計画編と同様、基本施策ごとに事務局から説明を受けた後、審議を行うという流れで進めたいと思います。 まずは事務局から説明をいただきますが、委員の皆様も事前に資料をご確認いただいているかと思っておりますので、事務局説明はポイントを絞った形でお願いしたいと思います。</p> <p><b>【市長公室次長】</b> 市長公室の駒瀬です。 私からは、第5章、自治体経営編案のうち、14ページ以降の財政運営を除いた部分につきまして、一括して説明をさせていただきます。  (資料1に沿って自治体経営編の目的から基本施策3「行政運営」までを説明)</p> <p><b>【総務部次長】</b> 総務部の舟橋と申します。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

続きまして14ページ以降の財政運営の部分について私の方から説明をさせていただきます。

(資料1に沿って基本施策4「財政運営」を説明)

私からは以上です。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。それでは審議に入りたいと思いますので、ご意見のある方は挙手をお願いいたします。関委員。

**【関委員】**

こまき市民活動ネットワークの関と申します。よろしく申し上げます。

2点ありまして、まず1点目ですけれども、市政情報ですとか、オンライン申請に関してデジタルデバインドについての記載やお話があるのですが、デジタルデバインドという問題は高齢者の方にとどまらず、障がいのある方のデジタルデバインドも非常に深刻な課題であると思いますので、ぜひここには障がいのある方へのデジタルデバインドの視点も入れていただきたいと思います。

もう1点ですが、13ページの展開方向3の手段に行政評価制度についての記載があるのですが、現計画の中には、客観的な視点も取り入れた行政評価制度の運用という一文がありまして、今回この一文がなくなっています。後退しているように見えてしまっているといけないので、ぜひこの客観的な視点を取り入れたという部分を加えていただくことをご検討していただけたらと思います。

**【柴田会長】**

はい。それでは事務局の方はいかがでしょう。

**【市長公室次長】**

まず障がい者の関係のデジタルデバインド対策ということで、現状、特に記載がありません。どのように記載すると伝わりやすいか検討いたします。

それから客観的な視点については、特に意図があったわけではありませんので、これについても検討いたします。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。それでは続いて、一般公募の吉田委員、お願いいたします。

**【吉田（富）委員】**

1点よろしく申し上げます。

5ページの展開方向1協働によるまちづくりの環境を充実しますというところで、私は今地域の方で災害事業とか老人クラブ、いきいきサロンのボランティアもいろいろ手がけておられて、そこで何とんでも、担い手の確保、それから継承がすごく難しく課題になっているというところで、この手段の中の3のところを継続を支援しますと記載がありますが、これは具体的に何かお考えがあるのか伺います。よろしく申し上げます。

**【柴田会長】**

それでは事務局からお願いいたします。

**【健康生きがい支え合い推進部次長】**

今ご質問いただきました、団体活動のスタート及び継続を支援します、の具体的な内容というお尋ねでございますが、現在は、様々な活動を手伝っても良いと考えている市民へその情報を提供し、参加を募るといふ、ボランティアマッチングをワクティブこまきの方で実施しております。

こういったものを活用しながら、イベント或いは事業を進めていくということを考えておきまして、制度としてはまだ始まったばかりですので、これから認知されていくよう、市としても周知啓発は行っていくところであります。

**【柴田会長】**

以上でよろしいですか、はいどうぞ。

**【吉田（富）委員】**

私は、担い手の確保ができない、活動が継承できないというところから、市としてこんなアイデアがあるからこんなふう支援しますよというふうにお示しいただいたと文章から取ってしまったのですけれど、その点お聞かせ願いたいと思って質問しました。

**【健康生きがい支え合い推進部次長】**

担い手の確保というものにつきましては、行政としてもやはり苦慮しているところであります。

当然、地元或いは団体の方でも、後継者不足というお話は何っているところであります。

特効薬といいますか、こうした人が集まるですとか、後継者が育っていくという、なかなかいい手が見つからないというのが現状ではあります、情報提供を重ねて、協力していただける方を発掘する或いは研修、講習会などを通じて理解を深めていただくような、そんな取り組みが進められればいいかなと思っております。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。助け船になるかわかりませんが、確か今年の春あたりにいきいきポイントをどう充実させるかという審議会がありまして、その中でやはり担い手の方の負担の重さをどのようにして軽減できるかについて、かなりアイデアが出ておりまして、市のホームページに出ているかと思えます。そういうところからおそらく市の担当部局の方が、適切なものを拾って、実際に中身を作っていくのではないかと推測しています。

それでは区長会の近藤委員。

**【近藤委員】**

現職の区長として、私は、これで都合3回区長としてやっております。

何が問題かという、次の役員の担い手、これがなかなかやってもらえる方がおりません。なぜかという、業務的に多いということ、これまでの経緯、過去からのものをなかなか捨てきれないということもあり、そういう点で非常に苦慮しております。私は70になったばかりですが、それより下の年代の方が減っており、なかなか受けていただけない。

例えば1年ぐらいで済むならいいよという方もいますが、やはり最後に区長になることになりまして、やはり責任がついて参りますので、そういうことはやりたくないという方が多く見受けられます。

また団体の方も、子ども会とか老人クラブとかいろいろな地域の団体の方と協力しながら、いろいろなイベントなどの事業も進めておりましたが、こちらも結局、役員のやり手がないということで、どんどん縮小の方向に向かっており、今、際どいところになってきております。

今、市の方もおっしゃられましたが、なかなか特効薬はないもんですから、引き続き参加していた

だくことを呼び掛けております。

それからもう1点、今市の方も申請のデジタル化とか進めていただいているのですが、なかなかそれに乗りきれない方もまだまだいます。特に区の役員ですと、なかなかスマートフォンの機能も十分使い切れないとか、そういうことを言われます。

また、その区ですと、ネットワークの管理を誰ができるかという話になるとこれもまた難しい問題がありまして、実態としては紙ベースで処理しているのが多くあります。

我々の現状について申し上げました。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。ちょうど根本的なところかと思いますが、事務局どうでしょうか。

**【市長公室次長】**

今いろいろとお話を伺いましたが、区の役員は大変負担があるということで、市の方でもその負担を減らすようにいろいろな事務の改善をして、区の連絡網というような形で、専用アプリなんかも導入しており、徐々にではありますがデジタル化が進んでいると考えているところであります。

また高齢者のデジタルデバインドについては、今年度からかなり本格的に実施をしております。8月の講座では、350名を超える方に受講いただきました。

このような形で徐々にではありますが、デジタルデバインド対策を進めております。それから役員の負担もできるだけ減らして、お受けいただけるような環境づくりをしていきたいと考えています。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。本当に区長さんですとか、或いは民生委員さんですとか、改選期に交代してくれる人を見つけづらいとか、そういった中で活動いただいている市民の方は本当にありがたいと思っています。

3月の審議会でも、やはりいろいろな根本的な問題がたくさんあるというところは認識しているようには思います。

そのときの話では、一番いい解決策はまだ絞りきれない、難しいところもあるというところで、この計画でも小牧市全体の方向性、これを総論としてバチッと書くということは、おそらくまだ難しく、安全な書き方にならざるをえないのかなというふうにもちょっと推測しております。評価もしなければなりませんし。下手なフォローで申し訳ありません。

それでは他にいかがでしょうか。

一般公募の舟橋委員。

**【舟橋（精）委員】**

9ページの行政サービスの展開方向2の民間活力の活用と連携に関することです。参考資料2の行政サービスの枠に、指定管理者制度導入施設に満足している利用者の割合がほぼ9割とあります。時代が変わったなと思いました。昔を思い出せば、行政から民間委託の話が出ると、サービスの質が落ちると、結構反対の意見が強かった時代もあったかと思います。

でも、今日ではニーズの多様化や、行政の規模制限のために行政が対応しきれないものがあり、民間の力を活用しなければやっていけない事情があって、民活は、これからの行政を健全に維持させるための欠くことのできない方策と思っています。

そんな民活について私なりに気になっていることは、行政が必要以上に民間に頼ってしまう、また、関わった民間企業のプロモーションによって行政自体がコントロール、誘導されてしまう可能性があるのではないかということです。

資料に、課題提案型実証事業に基づいて実証した事業数、令和4年度に2件という数字が載っていますが、この課題提案型実証事業について、コンサル団体のプロモートによって進められた事業と認識しています。

民活の設計段階で民間が関わっているという点が気になっています。

そこでお聞きしたいことは、この実証した事業の2件について、機械翻訳とカラス対策の2例と思いますが、これを行った市としての評価、市民など外部からはどんな声があったのか。そしてこれを継続事業として進めるのかどうかについて聞かせてくださると嬉しいです。

**【柴田会長】**

それでは事務局の方からお願いします。

**【市長公室次長】**

まず、指定管理のお話を最初にいただきました。

舟橋委員が言われる通り、余りに民間に頼りきりにはならず、行政として責任を十分に保つ、そういう中での指定管理をやっつけていかなければいけないと考えております、委員からもご提言をいただきましたので、それについて十分に肝に銘じます。

また課題提案型実証事業の関係ですが、2件実施しております。

委員の言われた、カラスの被害対策の実証事業であります、テレビ等でも報道がされましたので、ご覧になった方もお見えになりますかと思いますが、カラスの滞在時間が減少するなど一定の効果が認められたところでもありますので、今後も続けていきたいと考えています。一方、多言語翻訳、これについては、なかなか効果が見込まれませんでしたので、導入には至っておりません。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。それでは次に一般公募の伊藤委員。

**【伊藤委員】**

一般公募の伊藤です。

6ページのSNSの情報共有のところ、提案させていただくのですが、指標の中に市政情報に関する動画の投稿数や、閲覧数があるのですが、実際これはYouTube だとは思いますが、小牧のYouTube はすごい本数が上がっているのですが、長い動画ばかりしか上がってなくて、今の僕たちの感覚だと、やはり長いと感じます。短いのがあれば、LINEとか、Xにそのまま使い回すことができますし、ショート動画ならば、登録しなくても勝手に上がってくるので、より広い層に広がるのかなという意味で、YouTube ショートをちょっと試してみたら面白いのかなあとと思います。

あと単純に若い層に向けて、どういうSNSを使っていくのかお考えがあれば教えていただきたいです。

**【柴田会長】**

では事務局からお願いします。

**【市長公室次長】**

まずYouTubeの動画ですが、小牧市では公式のYouTubeチャンネルには、現時点で853本の動画がアップされています。おっしゃる通り長いものがあるのは現状であります。ご提案いただきました短い動画のほうが若い人たちに伝わるということも理解できますので、できるだけ端的に若い人たちにも伝えるようにしていきたいと思っております。

それから、SNS の活用の状況であります。現在市では X、フェイスブック、ライン、それから市の公式ではありませんが、インスタグラムを使っています。

それぞれ特徴を生かしながら情報発信しているところではあります。いろいろな媒体がまだありますので、十分検討をする必要はあります。

**【柴田会長】**

ありがとうございます。それでは岩野委員お願いします。

**【岩野委員】**

先ほど SNS やオンライン化を進めていくという話が出ていたと思うのですが、特に日本語が母語ではない人たちが多くいます。

例えば、以前は、各店舗に 1 人は翻訳または通訳の方がいらっしやって、日本語が話せなくても気軽に店舗に行けたのですが、オンライン化を進めていくとともに、人員削減を兼ねてだと思っんですけど、一切いなくなりまして、すべてオンラインで手続きしなくてはいけない状態になったのですが、グーグル翻訳にかけることもできるのですが、やはりグーグル翻訳ではすべて対応できないこともありまして、なかなか気軽には行けなくなって手続きができなくなったという声も身近に感じております。

なので、オンライン化を進めていくことはもちろんいいことだと思うのですが、そちらの方面も削減などはしないでいただきたいというのと、特に行政の手続きですと、こどもが親の翻訳通訳のために学校を休むだとか、学校に行けない、付き添わなければいけないっていうことはよくありますので、そういった面でもやはり、オンライン化を進めると同時に何かサポートできるようなことをしていただければ嬉しいなと思います。

**【柴田会長】**

それでは事務局からお願いします。

**【市長公室次長】**

まず、オンライン化の関係でご意見をいただきました。

オンライン化を進めるのは、事務的な手続きをできるだけ簡素化することで、相談業務だとか、本来業務にできるだけ労力を割いていこうというのが本来であります。

よって今委員からお話があったように、事務的な手続きはできるだけオンライン化して簡素化して、そしてそれによって生み出された時間等を、相談業務だとか、より丁寧で親切な対応をしていきたいと考えているところであります。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

一般公募の晦日委員お願いします。

**【晦日委員】**

一般公募の晦日です。

先ほど伊藤さんもおっしゃっていたのですが、市の SNS フォロワー数について、参考資料 2 の上から五つ目のところで、令和 1 年度から令和 2 年度にかけてコロナが流行し出した時期だと思っんですけど、3 倍ぐらいに増えています。コロナがはやり出す前と、そのあとで何か SNS の使い方で変えたところとか、新しく始めたことなどがあれば教えていただきたいです。

**【柴田会長】**

この顕著な変化の説明をお願いします。

**【市長公室次長】**

SNS のフォロワー数の状況ですが、委員がおっしゃられる通り、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いまして、特にワクチン接種についてラインを通して申し込めるような形にしたことにより、大きくフォロワー数が増えました。ライン登録者数は6万6000人を超えるところですが、この方々を有効につなげていかなくちやいけないというふうに考えております。

市ではいろいろな情報を発信しているのですが、あまり情報を送り続けると、逆にこれはいらないということでブロックされるようなこともあります。したがって、市の方では、このフォロワーの方々が必要とする情報だけを届けられるような、セグメントの配信を実施しております。

セグメント配信することでフォロワーから外れることなく、情報を受け取っていただくことで、必要な情報をお届けしていきたいと考えているところであります。

また、このラインがかなり増えたということで、例えば市民の方へのアンケートですが、今まで紙でやっていたものを、より気軽にできるように、アンケートを取ることも可能となってきましたので、そういったものも導入を検討していきたいと思っております。

**【柴田会長】**

ありがとうございます。一般公募の日榮委員、お願いします。

**【日榮委員】**

日榮です。よろしくお願いします。

17 ページですが、公共ファシリティマネジメントを推進しますとありますが、実際、今使用している公民館とか会館なんですけれども、ここに書いてあるような施設点検を実施しているところを見たことはないです。

ほったらかしにされていて、都合が悪いところがあれば、自分たちで直すということで、区民の皆さんからの賛助金みたいな形で1世帯につき100円とかいただいて、毎年それで賄っているようなこともやっています。

公共のファシリティマネジメントっていうのは公共施設をできるだけ長持ちさせて、整備とか管理とか運営を行うことで、次世代に大きな負担を残さないようにするっていうのが目的だと思います。

世帯数も減ってきて高齢者も多いと、そのうち施設はどうなるのかなど不安には思っています。

今後の公共施設について実際に保全計画に基づいて実施されているのかちょっと教えていただきたいなと思います。

**【柴田会長】**

では事務局の方からお願いします。

**【総務部次長】**

ファシリティマネジメントのご質問であります。公共施設は市役所はじめ大きいものから、地域のものまでいろいろあります。

その中で、今おっしゃられた保全については計画的に進めてはいますが、予算の制約がありますので、その中で本当に必要なものを優先的に進めていくような形で進めております。

人口減少が進む中で、今の施設を今後も維持していくということは正直財政的に考えましても本当

無理な話でありますので、そういったところからもご意見等お聞かせいただければというふうに考えております。

**【柴田会長】**

ありがとうございます。

もしかしたら今の点については、大規模で非常に費用がかかるものについては、単年度で特定の年度に集中しないようにというふうに計画的にやりながら、小規模についてはそれぞれ対応しているのかなとちょっと思いました。

**【市民生活部次長】**

会館の件ですが、修繕については、区長さんをご相談させていただき、補助を出しながらやっているような状況ですので、不具合等がありましたら、区長さんを通じて自治会支援室の方までお伝えください。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。それでは他にいかがでしょうか。青年会議所の舟橋委員。

**【舟橋（拓）委員】**

小牧青年会議所の舟橋と申します。

12 ページに書いてある下の展開方向に関連してなのですが、ハラスメントを受けたと感じた時にどこにも相談しなかった職員の数というのが出ているのですが、相談しなかった職員の数は何を基準に把握されたのかご説明いただけないですか。

**【柴田会長】**

事務局からお願いします。

**【市長公室次長】**

こちらにつきましては、毎年アンケートを実施しております。自分がハラスメントを受けたかどうか、受けたと思われる方については、そのときどのような対応をしたかというようなことを聞いております。

その中で、特に相談をしなかった、我慢をしたというような方が、令和4年の状況で30名ほどお見えになります。相談しやすい体制を市でも進めていますので、これを少なくしていきたいというところで指標として挙げさせていただいております。

**【舟橋（拓）委員】**

ありがとうございます。ちなみにそれ原因など、もうちょっと細かい分析は難しそうってことでよろしかったですか。

単純に相談できなかった人を減らすよりも、解決できた件数を増やすなり、そもそもの認知件数を減らすというのが指標としてはいいかなと思ったのですが、いかがでしょうか。

**【市長公室次長】**

認知件数を置くことも可能ではありますが、実際に相談があったものについては、人事課の方で聞き取り等をしながらか解決に向けていろいろな取組をしていますが、ハラスメントというのは、人と人の部分ですので、必ずしもその解決したところが両者が納得したものかというところ、若干違うところが

ありますので、この辺非常に難しいところです。

まずはこの我慢をする、相談しないというところはできる限り少なくして、相談することによって何らかの解決の糸口をつけていきたいというところからこの指標においています。

**【舟橋（拓）委員】**

ありがとうございます。そういった趣旨であれば確かに環境調整が優先ということで、この指標でよろしいかなと思います。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。それでは他にいかがでしょうか。浦田委員お願いします。

**【浦田委員】**

名古屋大学の浦田です。

デジタルの関係でコメントさせていただきますけど、2 ページのところの経営理念のところです。

おそらく、今回特に力を入れるという形でデジタル技術を効果的に活用するというコメントを入れていただいていると思うのですが、3 ページの方の体系を見たときに何かそこがあまり伝わってこないという印象を受けました。

先ほどの説明の時にも、6 ページの展開方向3のところ、デジタルを活用したという話をされていまして、この展開方向3のタイトル自体に、デジタル技術を活用してという言葉をつけてもいいのではないかと思います。中身を見ても、すべてデジタルの話だと思うので、ぜひ項目として展開方向の見だしにも出てきてもいいのかなと思いました。

あともう1点ですが、10 ページのところに、DX であるとか、デジタルリテラシーや情報モラルの向上を図っていかなければいけないという課題が書かれております。

それに対して、中身はどうなっているかということで見ると、対応しているところが、13 ページのところに行きだけ、データを活用した政策立案を実施しますと、研修の受講者数で数値を測るという形になっていますけど、もう少しその課題感に対して、実際にやっていく手段といったところを膨らませていいのではないかと感じました。

**【柴田会長】**

事務局いかがでしょうか。

**【市長公室次長】**

まず6 ページのところの展開方向3のところですね、頭にデジタルを活用してというようなことを加えてはどうかということですが、デジタルの活用に関する記述が多くなっていますが、デジタル以外の記載もあることから、追記については一度検討したいと思います。

それから13 ページのところも、もう少し膨らませたらというようなご意見をいただきました。

展開方向4にもRPA等の活用や、フリーアドレスについての記述もありますので、これらも含めて、一度全体的に検討していきたいと思います。

なお、デジタルの活用につきましては、まちづくり推進計画全体に関わる横串の一つと位置付けておりますので、データの活用というのは、今後小牧としても積極的に取り入れていく必要があるというふうに認識しているところです。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。大分出尽くしてきましたかね。

それでは質問も出尽くしたということによろしいでしょうか。

続いて次第4の(2)その他についてに移らせていただきます。事前にご案内していただきました通り、これまでにご審議いただいた分野別計画編について、これまでの中で発言しそびれたことなど、ご意見をいただく時間を設けたいと思います。全体を通してご意見等があればご発言をお願いいたします。一般公募の舟橋委員。お願いします。

**【舟橋（精）委員】**

資料2の10ページ以降、ごみ資源関連、展開方向2のごみの再資源化に関することです。

昨年、プラスチック資源循環促進法が施行され、市町村にも一定の役割が定められたわけですが、この法律に基づく市のプラン、また、いわゆる製品プラスチックごみの再資源化や分別収集などについて検討されていることがあれば教えてください。

加えて、今年、バイオス小牧が稼働し、事業者が出す食品廃棄物の受け入れが始まったわけですが、これへの、家庭から出される生ごみの受け入れや、生ごみの分別収集については検討されていませんでしょうか。豊橋市などでは実施していると聞いております。

**【柴田会長】**

それでは事務局の方からお願いします。

**【市民生活部次長】**

まずプラスチックの関係です。

現在検討の最中ですので具体的なことはお話できませんが、今後発表できる時期が来るまでお待ちいただきたいと思います。

家庭から出る生ごみについてですが、議会の中でも質問があったのですが、家庭からの生ごみをバイオス等で処理することはできないのかというご提案がありまして、今後検討していくという回答をさせていただいたところですので、今は検討段階ということで、よろしくお願ひしたいと思います。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。大塚委員。

**【大塚委員】**

安全、環境の基本施策、防災・減災のところの確認なのですが、施策の内容的に展開方向では、防災意識を高めますや風土を醸成しますなど、基本的にソフト施策が書かれています。

防災・減災に対するハード面、施設の整備等っていうのは、市のレベルでは特に対応することはないかと、県とかになるのか、ここだけちょっと確認をさせていただきたいなと思います。

**【柴田会長】**

それではお願いいたします。

**【市民生活部次長】**

体育館等は当然、避難所として活用できるように整備しています。道路だとか河川だとかの対応は考えてないところでございます。

**【大塚委員】**

考えていないというのは整備の必要がないという判断をされているのか。

それは県の方でもらえるから市として、特にすることはないということなのか、そこら辺はど  
うなのかなというところでご質問させていただいたんですが。

**【柴田会長】**

この場で回答は可能でしょうか、それとも次回にしましょうか。

**【市長公室次長】**

このお話は複数部門に分かれる部分もありますので、次回にまとめてお答えをさせていただき  
たいと思います。

河川整備や水道の耐震化、いろいろありますのでその辺はちょっとまとめさせていただいて、次  
回にお答えをさせていただきたいと思います。

**【大塚委員】**

もしかしたら私がそれぞれの分野の中に書かれているものを見落としていたら申し訳ないです。  
よろしくをお願いします。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。岩野委員。

**【岩野委員】**

出会い・結婚・子育て支援のところなんですが、来年から名古屋市及び愛知県でパートナーシップ  
制度のような、似たような制度が開始すると聞いているんですけども、それについて特に言及がな  
いので、それは県がやることなので特に書かれていないのか、小牧市として特に予定がないのかに  
ついてお聞きしたいです。

**【柴田会長】**

事務局からお願いします。

**【こども未来部次長】**

パートナーシップの関係につきましては、このまちづくり計画の中では基本施策 17 の男女共同参画  
というところで取り扱いをさせていただいております。

現在の状況で申し上げますと、小牧市においてもパートナーシップ制度は導入していますが、まだ  
申し出といたしますか、第 1 号の方がいない状況です。

**【岩野委員】**

すみません、見落としておりました。ありがとうございます。

私もですが、かなり認知度自体が低いと思いますので。認知度自体を高めていけたら、第 1 号の方  
も出てくるのではないかと思います。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

特になければ私から一つ、これは言いそびれたことではなくて、この審議会で審議した後に出てき  
た話題ですが、この前ニュース見ていたら、小牧市の指定管理で保育園を運営しているところで、ち  
よっと不適切保育があったというニュースが出てきまして、それで、今の分野別計画案のところこそ

れに対応できる場所であるのかと。研修で保育の質を上げるという一部分しかなくて、私も一度小牧市の老人福祉センターの指定管理の選択の時のなんかに関わらせていただいたことがありまして、毎年、会計監査とかはあるんでしょうけれど、また指定管理の期間が終わったらまた選び直すという。

だからそんなに頻りにコミュニケーションがない状態でも老人福祉センターあたりであればいいのかもしれないんですけど、保育で、やっぱり指定管理のところになると、老人福祉センターとかよりも、もうちょっと難しいから、その法人さんと頻りにコミュニケーションっていうか、そういったものがもしかしたらあったほうがいいのかないかなと思いつつながら、素人なのでももしかしたらこれについては、そうですね。長江委員のお知恵を借りられたと思っていましたが、そこら辺について伺いたいと思います。

#### 【こども未来部次長】

週末から昨日にかけて、私立保育園の関係でいろいろ報道がありましてご心配をおかけしています。今回報道された件ですが、現在は指定管理者ではなく、民営化した私立保育園です。

そのため私どもとしましては、園長会ですとか、あと研修、そういうところには出席していただいており、また、指導保育士が、定期的な巡回等をしている状況です。

#### 【柴田会長】

ありがとうございます。やはり報道を鵜呑みにしてはいけませんね。

他にいかがでしょうか。清水委員お願いします。

#### 【清水委員】

10 ページのところですが、プラスチックごみによる海洋汚染などの新たな環境問題を踏まえるというところがあるんですが、これ以前、富山県の射水市の方で調査されたんですが、中国とか韓国の方からごみが来ているんじゃないかということで1回調べられたんですが、実は調べたら、内陸の方から結構ごみが流れてきているということがわかりました。

そのごみの多くが、ゲリラ豪雨のときが多いということで、ゲリラ豪雨は今後もどんどん増えていきますので、できれば雨が降った時に、外に出ないように対策もとっていただければと思います。さきほども生ごみの話があったんですが、生産者というか工場から出る生ごみは80数パーセントがリサイクルされているんですが、家庭からの生ごみはほとんど全国的に見ると3%ぐらいしかリサイクルされていない。なので、小牧市は環境分野でもかなり進んでいますので、生ごみについて早めに対処していただけたらいいかなと思います。

#### 【柴田会長】

それでは事務局からお願いします。

#### 【市民生活部次長】

まず生ごみについてですが、現在小牧市としては補助金を出して、生ごみ処理機とコンポストを家庭でやっていただくような形で進めているところです。

今後については先ほどお答えしました通り、生ごみの分別も検討していかなければいけないという状況でございます。

#### 【柴田会長】

それでは他にご意見ご質問等いかがでしょうか。舟橋委員。

**【舟橋（拓）委員】**

28 ページのところでは展開方向 1 の障がいに関する正しい理解を深めますというところですが、四つめの指標に市が主催又は後援する芸術作品などを発表する機会に出展した障がい者の人数という指標がありますが、障がい者の判断を教えてください。

**【柴田会長】**

お願いします。

**【福祉部次長】**

こちらの対象は、障がい者手帳をもっている方や、障がいの事業所、サービス事業所がごいますのでそちらを利用されている方が対象となっています。

**【舟橋（拓）委員】**

ありがとうございます。

なぜ聞いたかというところ、その上の指標にスポーツレクリエーションの集いへの参加者数と参加ボランティア人数というのがあり、これは障がいのある方もない方も両方入っているのかどうか分かりませんが、正しい理解を深めますというところからすると、機会を提供するだけじゃなくて、その関係者以外に幅広く人数を集めるということも一つの目標にしたほうがより、価値があるかなと思ったので、その点でどうなっているのかなと思って質問しました。

**【柴田会長】**

事務局からお願いします。

**【福祉部次長】**

まず指標の 3 つ目ですが、これは、参加者だけでなく、運営についても公募をかけまして、市民の方のボランティアを募り、運営していくものになります。

この芸術作品を発表する場についてもどのような形でやっていくかというのを検討する場を設けており、公募する形をとっております。

**【舟橋（拓）委員】**

私が申し上げたのは単純な話でして、3 つ目の指標は障がいのある方も支えている方も含めて、その人数が指標として挙げられていると思います。

要は、障がいのある方を中心として、支援機関やボランティアなど、そういう方々との接点がある方だけでなく、そうではない方々を含めて、イベント自体の動員人数がどんどん増えていくと、理解が広がったり交流が出てくると思うので、そういう視点も追加されてはどうかという趣旨だったのですが、その点はいかがでしょうか。

**【柴田会長】**

事務局の方からお願いします。

**【福祉部次長】**

そうですね。おっしゃられるように、障がいに関して全く関係ない方に関してどのような数値が取れるかについては持ち帰って確認させていただきます。

そのような方が増えることは市としても非常に良いことだと思っておりますので、よろしく願いいたします。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。

障がいの理解はちょっと数値化になじみにくいところも結構多いんですね。

あとは市の計画なので、やはり市が主催する、または後援するということと、対象者をどうするか、理解の広がりやをどう測るかについては微妙なところではあるのですが、ただ書き方の整合性を持たせるためには、こう書かざるをえないということかなと思います。

従って、障がいの理解について、実際の現場では、単純な問題ではないんだよという意識を持ってやっていただければいいのかなというふうに思います。

他にご質問等いかがでしょうか。岩野委員どうぞ。

**【岩野委員】**

多文化共生の部分ですが、私が外国人という立場から、身近でもいろいろ聞いているので、アドバイスと言ったらおこがましいですけれども、日本語教室に関してなんですけど、よく聞くのが、時間帯が仕事をしていたら行けないような時間帯ばかりというのを、多くの方から聞きます。確かに小牧市に住んでいる外国人の方、ほとんどが仕事をしているような人が多くて、夜勤の人とかだったら行けるのかみたいな。なので、そういうところも調整していただいたらより増えるのではないかと思います。

それと多文化共生のイベントに関してなんですけれども、私も実際に何度か参加しているのですが、日本人で多文化共生のイベントに参加する人って、かなり興味を持っている人しか行かないんですね。なので、新たに人とかあまりないような印象を私は受けたので、より SNS とかで認知度をどんどん増やしていけば、このイベントの参加者数も伸びるのではないかと思います。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。確かに名古屋市の港区社協で外国からルーツがある方も含めて地域福祉活動計画作っても、やはり長い時間働いて遅く帰ってきて、疲れ切っているから、それから何かどこかに出かけるっていうのはちょっと厳しいんだみたいな声も聞いたことがありますけど、事務局いかがですか。

**【市民生活部次長】**

日本語教室は日曜日に開催をしていますので、そういった PR も今後していかなければいけないと思います。いろいろな時間帯でやっていけるように今後検討をしていきたいと思っております。

あとイベント関係ですが、KIA という組織がございまして、そちらの方で会員さんを募集したり、市のホームページ等でいろいろなイベントの開催を案内しているところですが、まだまだ周知の方が足りないと思いますので、このあたりも今後どうやって周知していくとよいか検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

**【柴田会長】**

ありがとうございました。日曜は、午後でしょうか。

**【市民生活部次長】**

1日やっています。

**【柴田会長】**

実はブラジル系の人だと、日曜の午前中はミサがあり教会に行ったりするので、そのあたり工夫の余地はあるかもしれないですね。他にいかがでしょうか。舟橋委員。

**【舟橋（拓）委員】**

たびたびすみません。どの分野かが特定できなかつたんですけど、ICTとかデジタルという技術の話が出てきて、通信環境の整備が重要かなと思います。

公共施設でWi-Fi環境などの通信環境の整備とかの関係について、どこかに記述はありましたでしょうか。

**【柴田会長】**

お願いします。

**【市長公室次長】**

現在、市の公共施設では、公民館や市役所等において整備されています。それから災害時の関係で各小中学校でも使えるような形になっています。

現在、順次整備をしているところであります。

**【舟橋（拓）委員】**

ありがとうございます。

今のお話だと、もしかすると個別の分野にちらっと入っているのかなって印象あつたんですけど。

もしかすると、全体的に何か統一してこういうふう整備を進めていくという話があるのでしたら、どこかに1項目設けてもいいのかなという気はしました。自治体経営のどこに落とし込むのが大変なのかもしれないですけど、1個持つとくとよいかなと。

こういうふうWi-Fi環境とか通信環境の整備、或いは公的施設の整備を進めていくということがあると見やすいのかなと思ったので、そのご提案でございます。

**【柴田会長】**

事務局の方からお願いします。

**【市長公室次長】**

まちづくり推進計画にずばり書いてはいないのですが、個別計画にデジタルイノベーション推進計画というものがあります。

そこに、Wi-Fiの環境の拡充というところがありまして、デジタルに特化したような計画の中で、Wi-Fiの整備については取組内容等を記載している状況であります。

**【柴田会長】**

他にいかがでしょうか。

大体出尽くしたということでよろしいでしょうかね。

それでは意見が出尽くしたようですので、以上で、本日予定していたすべての審議を終わらせていただきます。

円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございました。今回をもちまして、まちづくり推進計画第2次基本計画の審議につきましては、一通りの審議を終えました。

なお次回の審議は11月14日を予定しておりますので、委員の皆様どうぞよろしく願いいたします。

それでは事務局にお戻しします。

**【秘書政策課長】**

委員の皆様、長時間にわたりありがとうございました。

会長からもありましたが、次回の審議会は11月14日火曜日、午後6時からこの会場で予定をしております。お忙しい中恐れ入りますが、ご出席のほどよろしく願いいたします。

最後に事務局より交通安全についてのお願いをさせていただきたいと思います。

交通事故を決して他人事と思わず日頃から気をつけていただきますようお願いいたします。

特に、お帰りの際は暗くなっておりますので、車を運転される際は歩行者や自転車に注意し、安全運転に努めていただきますようお願いいたします。

また歩行時においては左右の安全確認を行った上で、必ず横断歩道を渡っていただくなど、日頃より交通安全にご注意いただきますようお願いいたします。

それではこれもちまして、第5回小牧市まちづくり推進計画審議会を閉会いたします。

本日はありがとうございました。

**5. 閉会**